



埤玉縣之產業

附名所舊蹟



S6

璿至縣之產業

附名所舊蹟



はしがき

本縣産業の概要を収録して茲に此の小冊子は成れり  
各種方面に於ける當業者如何に經營し發達したるか而して今後如何なる進路に向つて馳驟すべきや斯界の消息を傳へんが爲其の手引として此の小冊子は提供せらる所謂眞個案内に過ぎず這回群馬縣主催一府十四縣聯合共進會の機會を利用し此の小冊子を刊行する所以のもの豈其れ偶然ならんや

明治四十三年九月

編者誌

(1)

## 埼玉縣之產業目次

概 說 .....	1
面積人口生産高 重要物産産出價額比較表 米收穫高郡別比較表	
農 業 .....	2
縣立農事試驗場 .....	2
同上浦和分場 .....	3
縣立熊谷農學校 .....	4
秩父郡立農學校 .....	4
縣農會 .....	5
耕地整理事業 .....	6
有限責任大宮購買組合 .....	9
有限責任鷲宮購買販賣生産組合 .....	10
輸出百合根栽培の狀況 .....	11
愛光舎大宮種牛牧場 .....	11
有限責任川越家禽購買販賣組合 .....	12
農家養豚の狀況 .....	12
農家養鶏の狀況 .....	13
入間郡立製茶改良傳習所 .....	14
蠶 絲 業 .....	15
繭産額郡別比較表	
本庄蠶病豫防事務所 .....	15
競進社蠶業學校 .....	15
浦部養蠶傳習所 .....	16
蠶桑試驗義會蠶業講習所 .....	16
田端愛蠶館養蠶傳習所 .....	17

(3)

小川製絲同業組合	32
槻川蠶卵原紙製造合資會社	32
川口鑄物組合	33
松本製粉工場	33
日本煉瓦製造株式會社	34

附

千景萬象	35
官幣大社氷川神社	35
蒲櫻	36
仙波の喜多院	36
岩殿觀音	37
吉見百穴	37
箭弓神社	39
平の慈光寺	39
三峰神社	39
長瀨	40
金鑽神社	41
同社内多寶塔	41
檢校塙保己一翁の生地	41
熊谷直實の墓	42
妻沼の聖天	42
樺樹の井戸	43
荒川沿岸	43
龍淵寺	45
總願寺不動堂	45
土地戸數組合諸會郡別表	47

(2)

日本蠶種貯藏株式會社	17
石川製絲所	18
埼玉製絲株式會社	19
富國館製絲所	19
開國館製絲所	19
甘樂社本庄分工場	20
信用販賣組合碓氷社藤澤組	21

林業

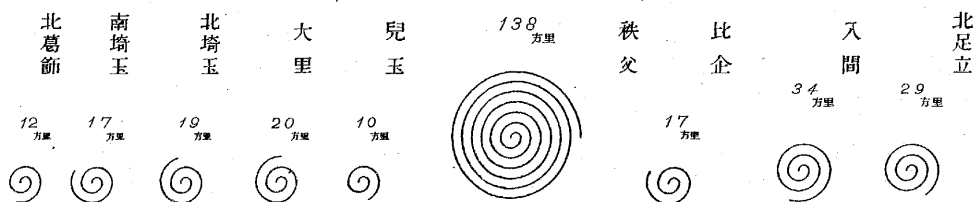
埼玉縣設森林苗圃	21
安行地方の苗木	22
名栗地方の森林	24
西川材木商同業組合	24
北足立郡赤松二段林	24

商工業

織物産額郡別比較表	
縣立川越染織學校	25
川越商業會議所	25
株式會社川越織物市場	27
株式會社越生生絹市場	27
埼玉織物同業組合	27
武藏織物同業組合	28
武藏飛白同業組合	28
武藏絹織物同業組合	29
秩父絹織物同業組合	29
武州本場絹織物同業組合	30
埼玉木綿織物産盛同業組合	31
埼玉木綿織物同業組合	31
埼玉足袋同業組合	32

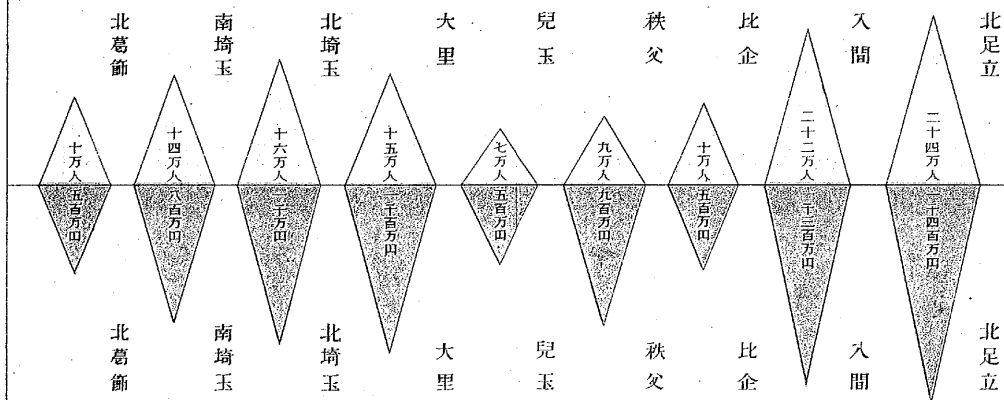
### 較比別郡積面內管

(里方七十九百二積面總)



### 較比別郡口人內管

(人万九十二百口人總)



### 較比別郡高產生內管

(圓萬千八高產生總)

管內重要物產出產價額比較  
 產額十萬圓以上

前頭 一〇〇	前頭 一三三	前頭 二二二	前頭 三三五	前頭 八二二	前頭 二二七	前頭 二二七	前頭 八四二	前頭 二四七	前頭 二四七
醬油	麥	大豆	酒	織物	織物	織物	織物	織物	織物
再	再	再	再	再	再	再	再	再	再
三三	三四	四五	五五	七七	九九	九九	九九	九九	九九
一二	五五	八八	九九	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
製茶	製茶	製茶	製茶	製茶	製茶	製茶	製茶	製茶	製茶
桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油
〇二	二二	五五	七七	〇四	〇四	〇四	〇四	〇四	〇四
桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油
〇二	〇四	〇五	〇六	〇九	〇三	〇三	〇三	〇三	〇三
桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油	桐油

供  
實  
覺

明治四拾一年  
勸進元

培  
玉  
縣

## 埼玉縣之産業

### 概説

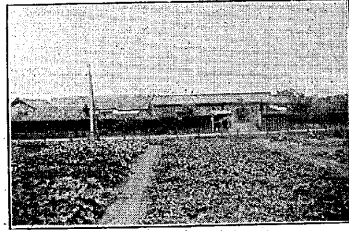
埼玉縣は關東平野の中央に其地域を占め武藏國の内北足立、入間、比企、秩父、兒玉、大里、北埼玉、南埼玉、北葛飾の九郡を管轄し四十二箇町、三百四十二箇村を有し面積二百九十七方里餘なりとす西は長野、山梨の二縣北は群馬、栃木、茨城の三縣南は東京府東は千葉縣に隣接す西方山嶽重疊し其の大なるものを武甲、三峰、兩神の三山とし之に亞ぐ者を城峰、大日向山とす利根川は其の源を上野に發し本縣の北境に沿ひて流る坂東太郎の稱あり之に亞ぐ者を荒川とす源を秩父郡に發し數條の溪流を合し東注して漸く大川となる是れ隅田川の上流なり西方は山壑連亘し陸田民戸稀疎東南北の三面は一望際なく所謂沃野千里にして土壤膏腴水田最も多く五穀桑茶に適し人煙稠密なり市街の最も繁華なるを川越町とし之に亞ぐものを熊谷、大宮、本庄、忍、大宮郷、浦和とす道路は中山道、奥羽道、北越

(1)



(2)

街道、山梨道、水戸道其他數十線縱横貫通せり而して中山道鐵道は縣の中央を串き以て西北諸縣に達し奥羽鐵道は大宮町より分れて東北諸縣に通ず其他淺草驛を起點として群馬縣下の伊勢崎驛に達するもの即ち東武鐵道、中山道の熊谷驛を起點として秩父の咽喉たる波久禮驛に至るもの即ち上武鐵道、入間郡川越町を起點として國分寺驛に至るもの即ち上武鐵道等あり加ふるに利根、荒川

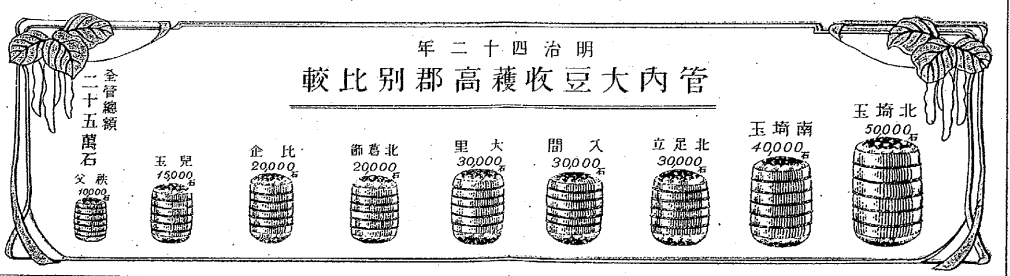
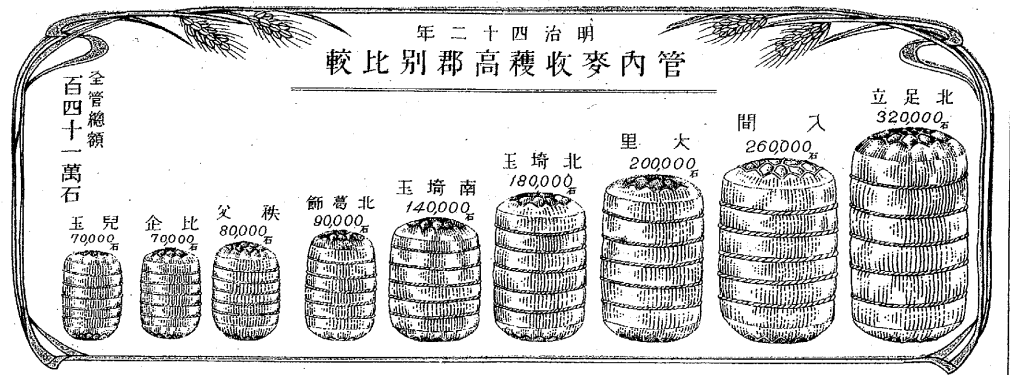
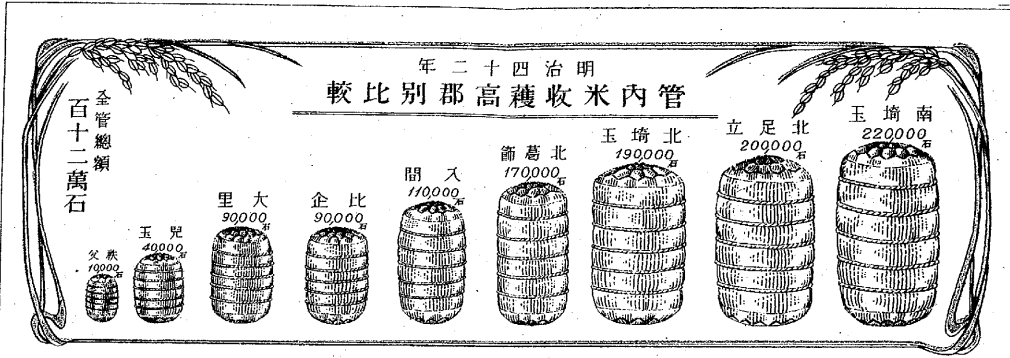


農事試驗場蔬菜園

の二大川其餘の諸流舟楫の利ありて本縣交通の至便なること他に比なし産物の著しきものは米、麥、大豆、甘藷、酒、繭、生絲、織物、茶等にして一箇年の産額九千萬圓を下らず若夫れ秩父の森林と鑛物は無量の財源を包藏せるものと謂ふべし

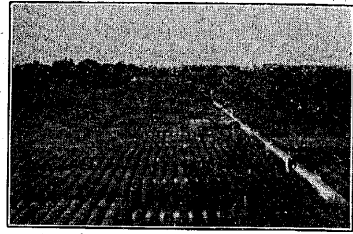
### 農業

縣立農事試驗場 は大里郡玉井村に在り所定の諸試驗に従

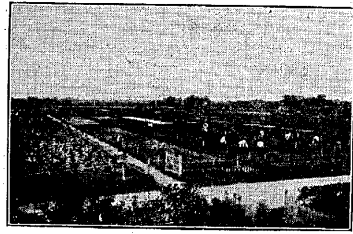


(3)

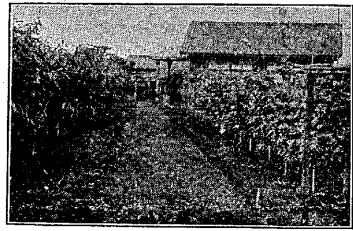
\*道浦和町に在り専ら蔬菜園藝の試験を行ひ且之が模範を営業者に示して漸次改良したるの效果甚だ著しく本縣蔬菜の東京



同 麥 圃



同 水 田



同 浦 和 分 場 果 樹 園

×市場に於て名聲の嘖嘖たる偶然にあらず  
附言 浦和町は縣廳の所在地にして諸官衙各種學校會社

事するに止まらず専ら模範を農業者に示し實益を收めしむるに務めり同場を訪はんと欲せば中山道籠原驛よりするを便とす(道程半里)  
縣立農事試驗場浦和分場 は中山\*

(4)

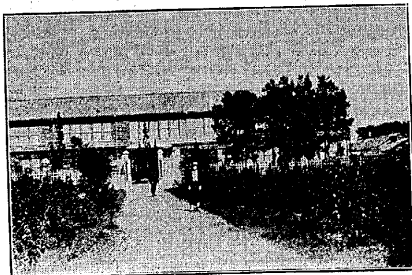


同上 蔬菜園

銀行等より電燈電話其の他の設備に至るまで完からざる無し

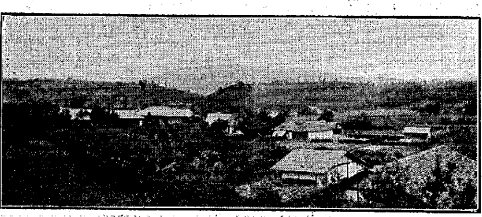
縣立熊谷農學校 は大里郡熊谷町に在り明治三十四年の設立にして既に四百餘名の卒業者を出せり現に百六十二名の生徒十七名の職員ありて實際的人物の養成に努めつゝあり同校は熊谷停車場を西北方に距る約半里人車

に由るを便とす  
秩父郡立農業學校 は秩父郡大宮町に在り明治三十四年の創設にして卒業生百二十四名現在生徒九十七名教員十名専ら實際的人物の養成に専む



縣立熊谷農學校

(5)

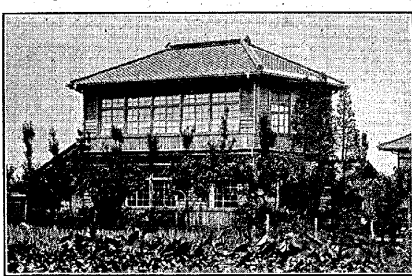


秩父郡立農業學校

の共同購入等の媒介農事改良上の施設に對する補助獎

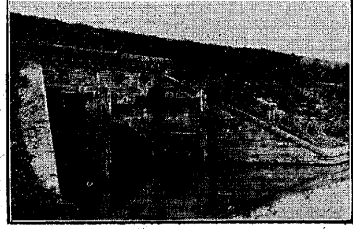
附言 同地方は秩父銘仙の産地にして又頗る鑛脈に富む神社佛閣には三峰山、寶登山、兩神、子ノ權現等有り而かも山川明媚の勝地多ければ一度清遊する亦可ならずや上武線の波久禮驛より馬車の便あり

埼玉縣農會 は北足立郡浦和町に在り設立以來郡町村農會を督勵し一般農業及農家副業の普及發達を計りつゝあり其の主なる事業は種苗の配布品評會各種講習話會の開催及農村風紀の改善麥酒用大麥の共同販賣紫雲英



縣農會事務所

(6)



比企郡九出村寺田門樋の圖

勵等なり

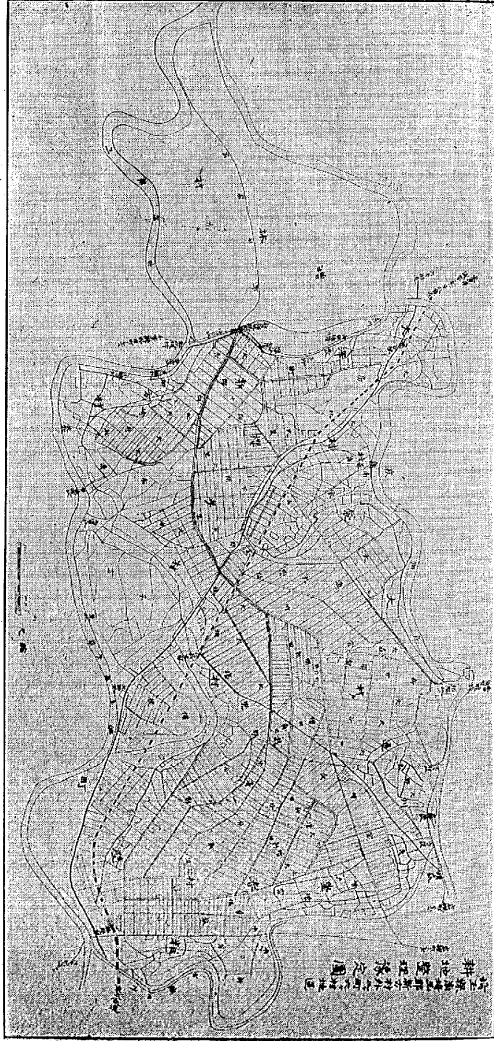
**耕地整理事業** は北足立郡鴻巣町常光村聯合地區が其魁をなせる以來既成地五十箇所總面積一萬三千餘町歩に達し成績頗る良好なり、最近の大地區としては比企郡舊川島領の三千町歩及南埼玉郡舊新方領の四千町歩にして面積に於て全國有數のものたるべし

圖は舊川島領地區大排水路が入間川に注ぐ寺田排水自働門樋にして此傍に排水機を設置し門樋閉鎖後の停滯水排除に備ふ、事務所は三保谷村大字平沼にあり川越町を距

ること一里

舊新方領は東武鐵道越ヶ谷武里柏壁の三驛に跨る大地區にして整理の發起當時には紛擾少からざりしが今や工事略完成し舊狀を一變せるを以て悉く效果の顯著なるを認むるに至れり

(7)

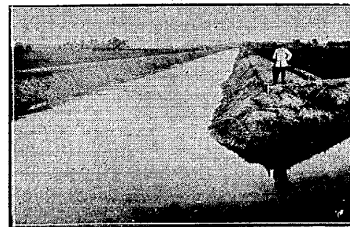


南埼玉郡新方領地整理定圖



同地排水區改修後

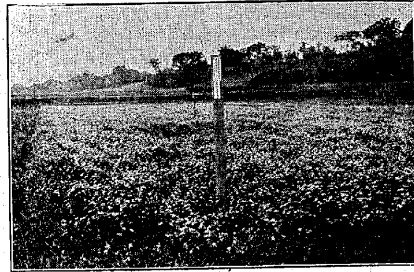
維持管理を爲さしめ以て整理の目的を達するに遺算なきを期せしむ、次圖は模範町村の一たる北足立郡石戸村整理地に於ける模範耕作者の裏作状態次圖は入間郡山田村整理地に於ける同稻作状態並に模範耕作地及隣田稻株の



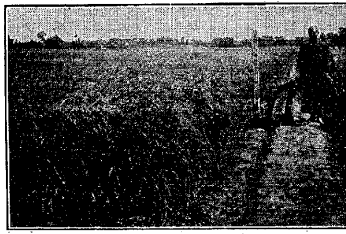
同上修改後景

前圖は其豫定平面圖にして整理後に於ける用排水道路組織の概略を知るに資するもの

排水區改修後、舊新方領耕地整理事務所は幹前武里村大字大場にあり、武里驛支のを距つること僅かに一町、整理後の施設として本縣は模範耕作者及耕作組合地を選定し農業經營上萬般の改善を促し整理地の



北足立郡石戸村模範耕作地裏作景

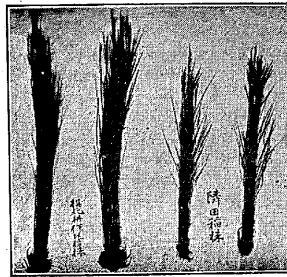


入間郡山田村模範耕作地稻作景

\*して一箇年の購買高七萬五千圓内外なり同組合は創立當時幾多の迫害に遭遇せしも理事監事等の意志鞏固なると組合員の一致團結とは遂に萬難を打

對照を示すものにして斯業を經營するもの、好參考たるべし、此等の成績は極めて佳良にして漸次當業者の間に普及し各種の農事改良は著

著實行の緒に就くに至れり  
有限責任大宮購買組合は中  
仙道大宮町に在る消費組合に\*



同隣田模範耕作地及  
比較耕作地

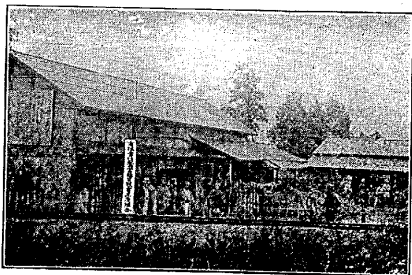
(10)



有限責任大宮購買組合倉庫

破して今日の盛況を呈するに至れり組合を設立せんとする諸子は親しく視察せば益する所蓋し尠少ならざるべし

有限責任大宮購買組合は南埼玉郡鷺宮村に在りて其の區域は一町七箇村に跨り事業は組合員の爲めに蠶種の共同購入と大麥の共同販賣と精穀機械の設備ありて組合員の使用に供するとの三は其主要なる事業にして日常生計品の如きも時時購買して大に將來發展せんとするの好況にあり同所は東武線の鷺宮驛



有限責任大宮販賣購買生産組合事務所

(11)



丹庄大村根百合の開花の一輪

より一丁の處なり

輸出百合根栽培の状況 花百合は輸出品にして栽培面積二百町歩一年の産額三十萬圓明治

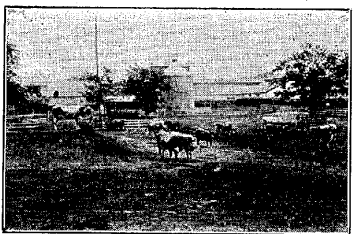
五六年の頃北埼玉郡の一部に止りしもの現今は兒玉郡丹庄村附近に移り益々盛んに栽培す

るに至れり漸次直輸出の計畫を立てつゝあり中山道本庄驛に下車し三里人馬車の便を藉り丹庄村附近に至りて視察するを良しとす

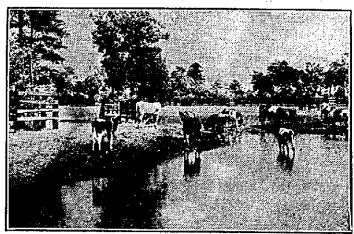
愛光舎大宮種牛牧場 は北足立郡大宮町にあり角倉賀道の經營に成り明治三十八年の創設にして面積三十町歩玉蜀黍を耕作し五萬貫以上の埋藏庫三棟を建設し年年海外より純粹種牛を輸入し現今三百餘頭の「ホルスタイン」



同地方栽培畑の状況

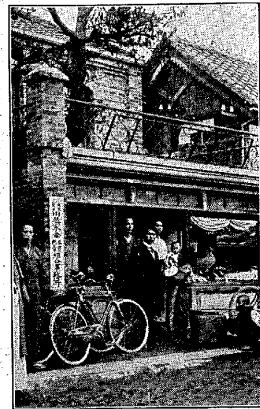


**農家養豚の状況** 本縣の養豚は各郡に普及し其の數約一萬二千頭年年七八千頭を産出し東京神奈川其他の地方に販出するもの亦尠なしとせず縣農會に於ても毎年良種豚を當業者に交付し之が改良蕃殖を圖れり圖は養豚地たる入間郡山



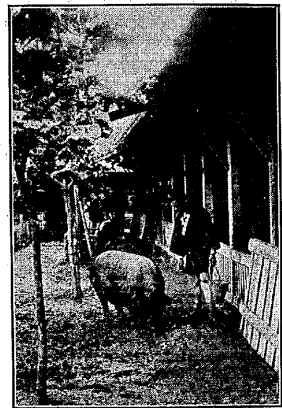
部一之場牧一第上同

種「ブラウン」種「ゼルシー」種及多數の山羊を飼養し種畜として各府縣に販出し熱心に畜産の改良を計れり中水道大宮驛より十町の東方にあり  
**有限責任川越家畜購買販賣組合** は入間郡川越町にあり  
 明治四十三年三月の設立にして事業著手の日尙淺きにも拘らず販賣の成績大に見るべき者あり區域は一町九箇村に渉り大に發展の餘地あり川越驛より數丁の距離にあり



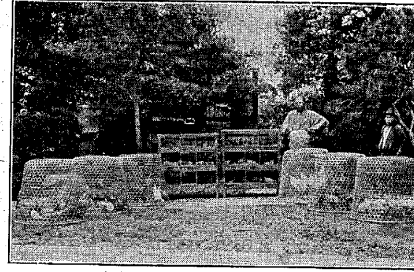
有購買販賣組合 川越家畜購買販賣組合 事務所  
 田村時田善次郎の豚舎にして氏は農事の副業として斯業を營み良種を産出す同地を訪はんとせば川越鐵道の入間川驛より一里入車の便あり  
**農家養鶏の状況** 縣下の養鶏は近來益々改良を計り之が原種として「ミノルカ」「レ

グホーン」「プリモースロック」種の類最も普及せり現今鶏數四十四萬羽産卵二千四百萬箇にして斯業の最も進歩せるは比較的南部及鐵道沿線の地とす圖は縣内主要の養鶏地南埼玉郡大相模村に於ける中村重太郎氏育雛の状況なり



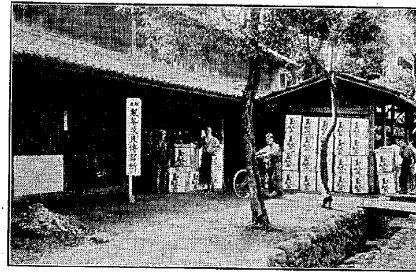
村田山郡間入 舍豚の氏郎次善田時



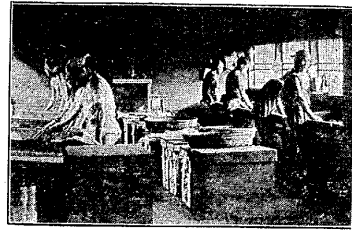


大相模村養鷄場

良に盡瘁し狭山製茶の聲價  
を一層高からしめたり  
附言 豊岡町には黒須銀



製茶傳習所 其一

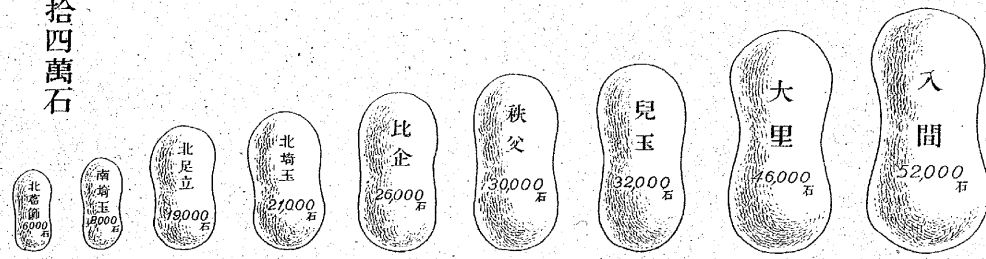


其二

入間郡立製茶改良傳習所  
は郡内數箇所であり今掲ぐ  
る所は豊岡町に設置せるものなり同地方數町村は狭  
山茶の産地にして本所は  
主幹繁田武平専ら斯業改

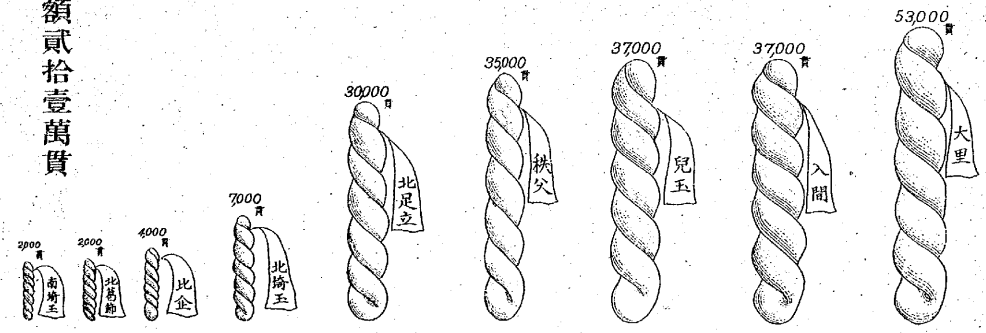
明治十四年  
繭產額別郡比較

全管總產額貳拾四萬石



明治十四年  
蠶絲産額別郡比較

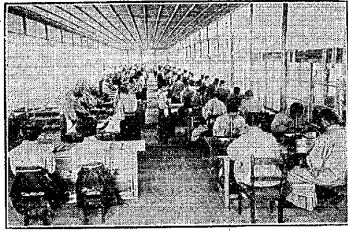
全管總產額貳拾壹萬貫



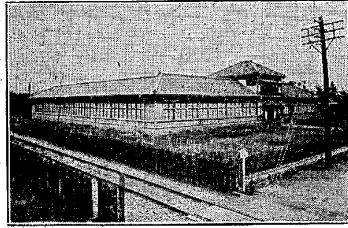
(15)

本庄蠶病豫防事務所  
は中仙道本庄町にあり、  
豫防事務所中最大なるものなり

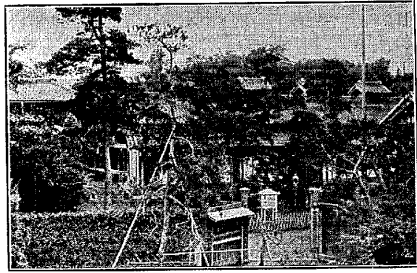
蠶絲業



本庄蠶病豫防事務所母蛾検査の景

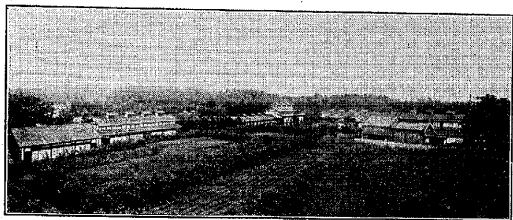


同所外部



競進社蠶業  
學校 兒玉  
郡兒玉町に  
あり競進社  
の經營する  
乙種程度の  
學校にして  
本科別科の  
別ありて年  
年百名内外  
の卒業生を

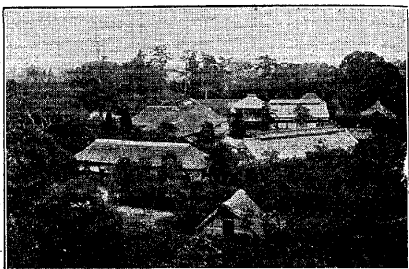
行、信用組合等あり町治亦見るべきあり川越鐵道入間川  
驛より鐵馬の便あり



浦部養蠶傳習所

出す、設備の完全なると養蠶法に一種の特徴あるとに依り  
 笈を負ふて來り學ぶもの本邦各府縣は勿論遠く清韓に及ぶ  
**浦部養蠶傳習所** は兒玉郡青柳村に在り、競進社蠶業學校  
 第二分教場にして、同社社長浦部良太郎の經營に係り、年  
 年百名内外の傳習生を養成せり、由來此の地は故木村九藏  
 の競進社を起せる地にして同社副社長木村九藏、木村豊太  
 郎等の養蠶傳習所皆此所にあり中山道の本庄驛より人馬車  
 の便あり

**蠶桑試驗義會蠶業講習所** は南埼玉郡潮止村にあり、佐藤  
 國藏の經營にして春蠶並に四化蠶の飼育法を傳習し且簡易  
 なる學理の講習を爲すにありて個人經營の稍完全なる講  
 習所なり若夫れ同所を訪はんと欲せば常盤線の北千住驛若  
 は松戸驛又は東武線の草加驛より其の何れよりするも共に



蠶桑試驗義會講習所

り明治二十五年創設せらる其の蠶種保護室及貯藏庫  
 には寒暖乾濕を人為的に調和するの装置と四萬餘枚  
 の蠶種を貯藏する設備とありて汎く春蠶種貯藏の委

車の便に倚るを得

**田端愛蠶館養蠶傳習所** は兒玉郡七本木村に在り田端

勘九郎の經營にして設備完

全せる縣下有數の傳習所な

り年年數十名の生徒を養成

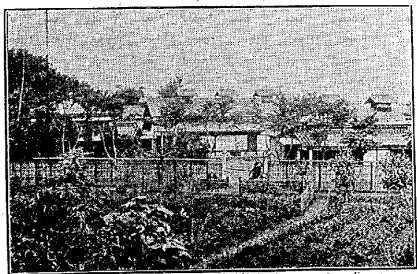
しつゝあり中山道神保原驛

より六丁人車の便あり

**日本蠶種貯藏株式會社** は

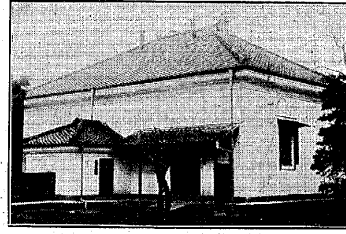
兒玉郡本庄町にあり競進社

社長故木村九藏の主唱によ



田端愛蠶館養蠶傳習所

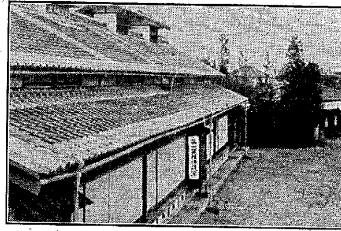
(18)



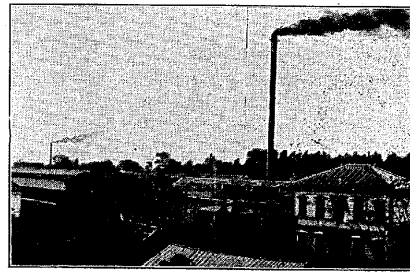
日本蠶種貯株株式會社貯藏庫

**石川製絲所** は入間郡豊岡町にあり分工場を川越

町に置く石川幾太郎の經營にして總釜數九百七十八を有し年年最良なる生絲約二萬貫を産出す縣下著名



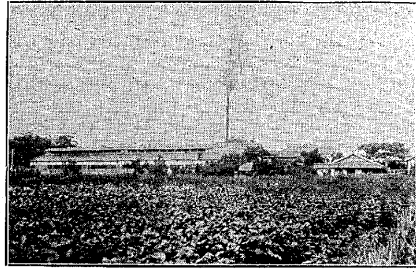
同上保護室



石川製絲所(川越分工場)

託に應じ懇切丁寧なる取扱を爲す其の成績の良好にして名聲噴噴たる偶然に非るなり

(19)



埼玉製絲株式會社

の製絲所にして常に經營方法の他に優越せるのみならず繰絲場、乾繭場、工女の寄宿舎、病室等の設備の完全なる模範的工場なり豊岡町へは川越鐵道の入間川驛より馬鐵の便あり

**埼玉製絲株式會社** は北埼玉郡三俣村に在り、釜數二百

五十を有し一箇年の産額四千餘貫、最精良なる生絲を産

出す、横濱市場に其名噴噴たり同所は東武線の加須驛よ

り數丁の東方人車の便あり

**富國館製絲所** は中山道深谷町に在り、長野縣の人兩角

市次郎の經營にして總釜數八百十四を有し、年年一萬

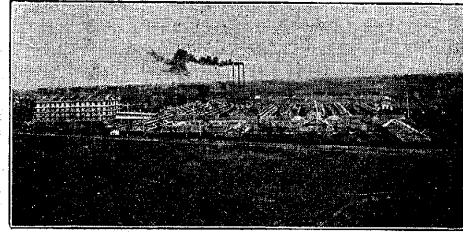
八千貫の生絲を産出す、諸般の設備整頓せる一大製絲所

なり

**富國館製絲所**

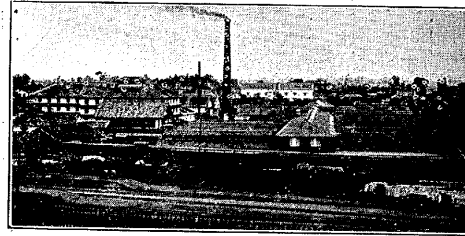
は中山道深谷町に在り富國館と並び稱せらる、一大製絲所にして

(20)



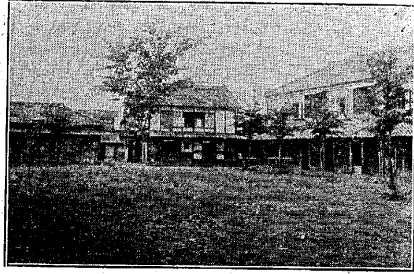
富國館製絲所

長野縣の人林國藏の經營なり總  
 釜數五百九十を有し生絲一箇年  
 一萬一千貫を産出す設備の最も  
 完整せる模範的工場なり  
**甘樂社本庄分工場** は中山道本  
 庄町に在り有限責任信用販賣組  
 合聯合會甘樂社の分工場にして  
 同場所管に屬する坐繰生絲の場  
 場は群馬、埼玉、千葉、栃木、  
 福島、岡山の六縣に跨り其數八  
 十箇所を有し年年出荷する生絲  
 量實に三萬六千貫價格百六十五



開國館製絲所

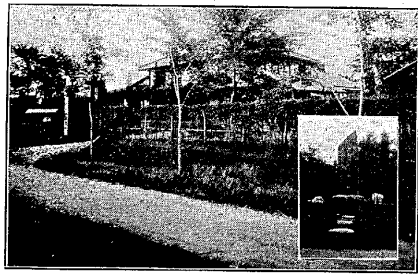
(21)



甘樂社本庄分工場  
 は大里郡藤澤村に在り管下  
 確氷社所屬中盛大なる揚場  
 の一にして設備の完全なる  
 稀に見る所なり同所は深谷  
 驛の南方約半里入車の便あり

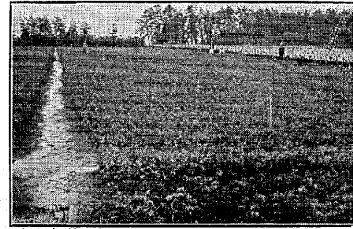
### 林業

**埼玉縣設森林苗圃** は秩父郡大宮町に在り其の面積十  
 二町歩あり、主として杉、扁柏の樹苗を養成し二千二



信用販賣組確氷社藤澤組

萬圓餘に達す、而も甘樂社獨特の經營方法に至つては分  
 工場と雖同一たれば來り參觀する可ならずや

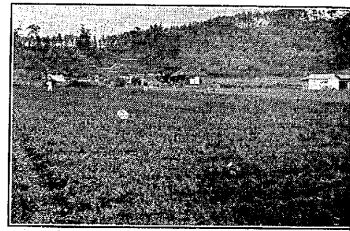


百町歩の縣有林を造成するを目的とし既に山地に移植したるもの二百八十萬本、面積五百六十五町歩に達す、蓋し本縣基本財産を設定すると共に汎く現實の模範を當業者に示して林業の發達に資せんとするもの、上武鐵道の波久禮驛圃より馬車に倚るを便利とす

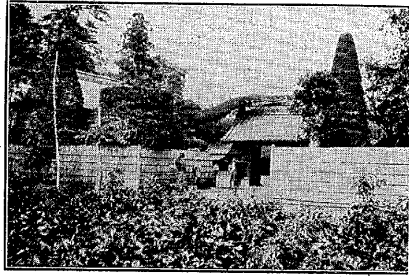
一 其 安行地方の苗木 北足立郡安行村附近一帶の地は苗木の栽培を以て夙に名あり内地の需要と海外の輸出とは年を追ふて増加し一箇年の産額實に

四十萬圓に上れり

同村には有限責任安行苗木販賣組合ありて確實の取引を爲すに務め殊に縣立農事試驗場の經營せる青酸瓦斯苗木燻蒸室を使用し害蟲附著の虞ある苗木には悉く燻蒸を施し果

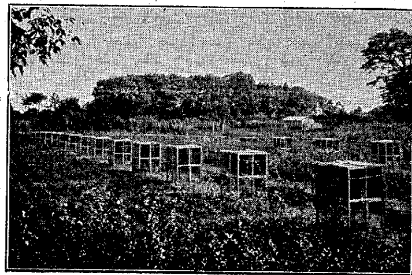


二 其 上 同

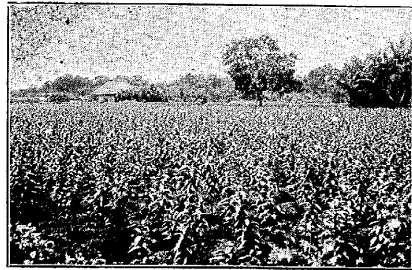


所務事合組賣販木苗行安任責限有

の順路は赤羽驛に下車し川口町(鑛物工場のある所)を經、大宮浦和方面よりは蕨驛に下車し鳩ヶ谷町を經て二里半俵の便に倚るを良とす



景の験試及室蒸燻木苗

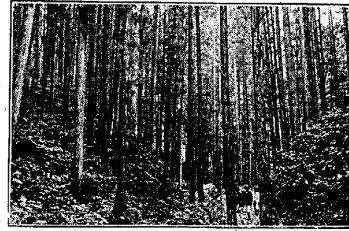


園培栽合百門衛右幸崎駒長合組

樹、桑、山林用、垣根用苗木、觀賞樹木、百合根、薔

薇、福壽草等を販賣せり

附言 斯地東京方面より



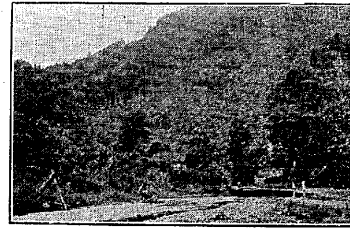
名栗の森林 其一

名栗地方の森林 秩父郡名栗村は荒川の支流なる入間川の  
上流に位し西川材の主要産地として東京木材市場に於て其  
の名著はる、而して杉、扁柏の人工殖林に就ては最も舊き歴  
史を有し諸般の設備方法完備し本縣の林業を代表するに足  
るべく森林の蓄積豊富にして百數十  
年の老齡林も亦少からず、其の林産  
物の大部は入間川荒川を利用して後流  
により東京市場に輸出せらる

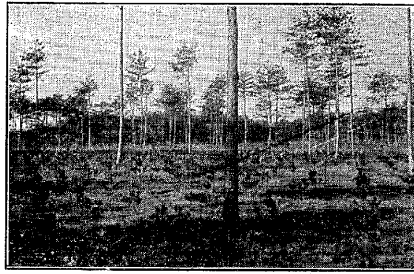
西川材木商同業組合 は事務所を入

間郡飯能町に設け木材加工材の検査及河川の浚渫道路の開  
鑿水難の防備等の事一切を處理せり

北足立郡の赤松二段林 同地方に於ては同一地所に於て用  
材と薪炭材とを得る目的を以て赤松林の林相を二段となし



同上 其二



石戸村地方赤松二段林

一町歩に付大約四十乃至五十本の用材となるべきもの  
を殘し他は悉く伐採し其の跡地には稚樹を植付け第二  
回若は第三回の伐期迄存殘せしむるの方法を採れり

### 商 工 業

縣立川越染織學校 は入間郡川越

町に在り縣下の重要物産たる織物  
改良の目的を以て學生薰陶以外に

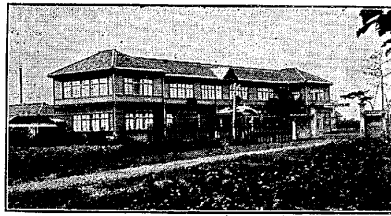
當業者指導の任を盡すに務めつゝ

あり

同校内には埼玉縣圖案調製所在りて大に織物の意匠を改善

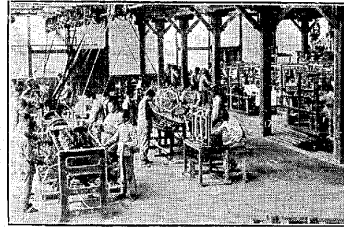
しつゝあり

川越商業會議所 は入間郡川越町に在り商業會議所議員三



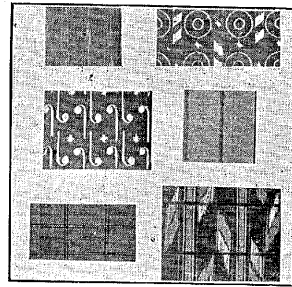
縣立川越染織學校





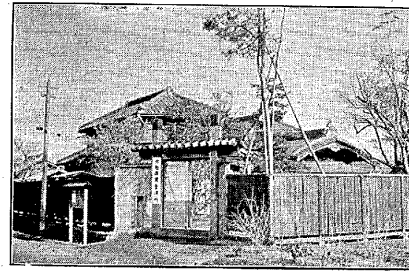
同上染織實習室

附言 川越町は戸數四千縣下第一の市街にして銀行、染織學校、圖案調製所、入間郡役所、蠶病豫防事務所、電燈電話の設備等ありて商業の要地也



圖案調製所製柄圖案

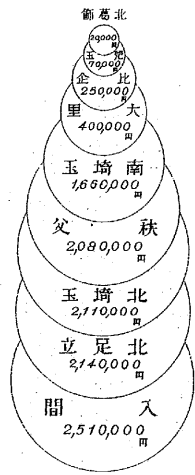
十名特別議員四名頭取副頭取常議員七名書記長書記等常務に執掌せり



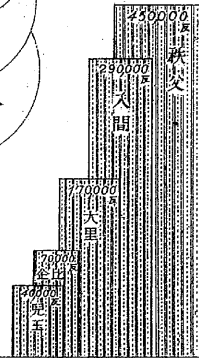
川越商業會議所

# 織物産額別郡比較

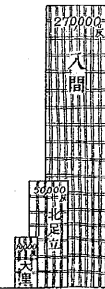
## 織物産出額別郡



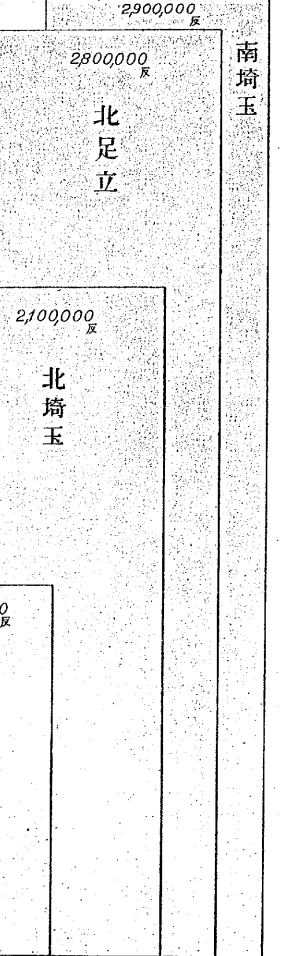
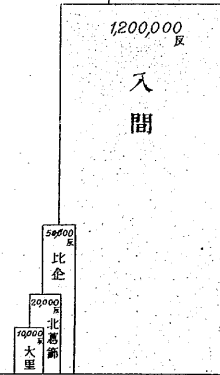
## 絹織物



## 絹交織物



## 縮織物



(27)



川越織物市場店頭の一

り中山道の太宮より電車あり又南方川越鐵道の起點にして交通至便なり

**株式會社川越織物市場** は入間郡川越町に在り毎月五十を

市日とし同地方産する所の織物を取引す

**株式會社越生絹市場** は入間郡

越生町に在り毎月二七の日を以て

地方より産する所の絹織物を取引

す同町は山村の市街地にして戸戸

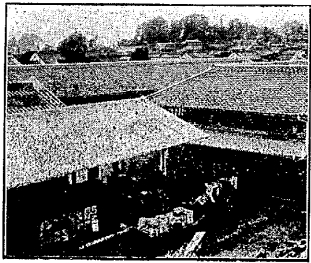
機杼の聲絶えず一度就きて取引の

状況を見るも亦可ならずや川越町より馬車の便あり

**埼玉織物同業組合** は事務所を北足立郡浦和町に置き専

ら木綿織物の改良に務む其の區域は北足立郡の一圓と入

間郡の一部とに跨り組合員數實に一千二百餘名を有する



同上取引の光景



武藏織物同業組合

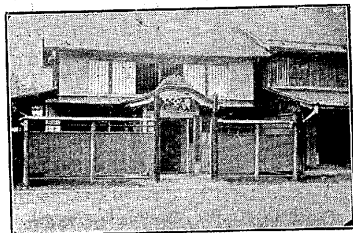
縣下第一の大組合なり一箇年の産額四百三十萬反價額四百五十餘萬圓とす

**武藏織物同業組合** は事務所を入間郡所澤町に置き絹綿交織、綿織物の改良に努め大に世の聲價を博せり一年の産額實に三百五十萬反價額三百六十萬圓に達せり

**武藏飛白同業組合** は事務所を所澤町に置き所謂所澤緋(村山緋と稱す)の名を以て産する織物は同

地方の物産にして一年産額百萬反價額百六十萬圓三越呉服店の如きも得意先の一なり

附言 同地機業の狀況を探らんと欲せば川越鐵道に倚るを便とす



武藏飛白同業組合

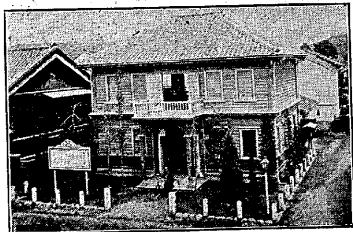


武藏絹織物同業組合

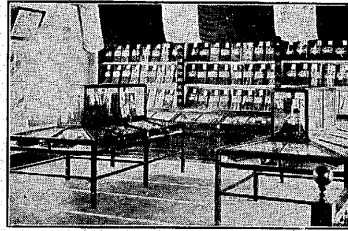
**武藏絹織物同業組合** は事務所を入間郡飯能町に置き純絹織物の改良を圖り一年の産額百三十萬圓白魚子、生絹等は同地方の特産として其の名夙に著はる同町は秩父一帯の翠黛と相對し宛然一幅の畫圖中に在る繁昌の地たり入間川驛より馬車鐵道の便あり

**秩父絹織物同業組合** は事務所を秩父郡大宮町に置き検査所試験場等の設備あり階上を參考品陳列所に充つ組合員二千八一年産額六十餘萬反二百

八十餘萬圓年年産額を増加し著著改善の方法を講じ現に整理工場を設け毎反検査を行ふと共に一定の整理を施さ



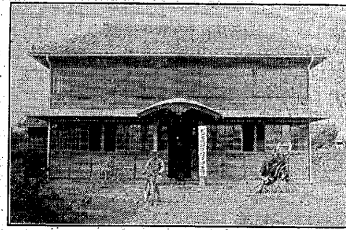
秩父絹織物同業組合事務所



同上階土陳列所

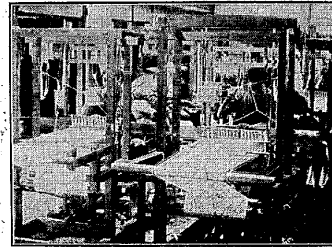
\*車の便あり

附言 小川町は山間の一市街にして銀行あり生絹及和紙製造業最盛にして山水明媚の地たり



武州本場絹織物同業組合事務所

ん計畫を以て起工準備中なり上武鐵道波久禮驛より六里馬車の便あり



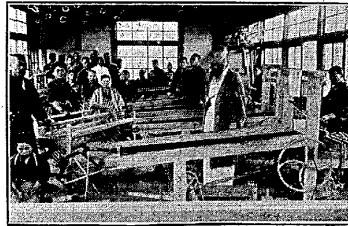
武州本場絹織物同業組合は事務所を小川町に置き比企郡一圓を區域とし専ら生絹の改善發達に努む最近一箇年の産額十數萬匹價額八十五萬圓とす熊谷町より四里半馬\*



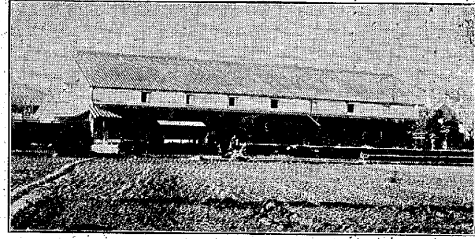
染織部講習

埼玉木綿織物同業組合は事務所を南埼玉郡久喜町に置き専ら白木綿の改善に盡瘁す其の區域は南埼玉郡の一圓と北足立郡北葛飾郡の一部とに跨り組合員數約二百名を有す一年産額四百二十五萬反二百二十萬圓とす

埼玉木綿織物産盛同業組合は事務所を北埼玉郡加須町に置く青綿は同地方の特産物にして一年産額二百萬反價額二百四十萬圓、組合は新に染織研究所を建設し技師を置き組合員の指導に努め大に特色を發揮するに盡力せり  
附言 加須停車場より僅に數丁にして事務所到達す不動岡の不動、三俣の製絲所、文部省認定私立埼玉中學校等共に數丁の間に在り



機織部講習



橋本工場風景

柳川蠶卵原紙製造合資會社

附言 久喜町は東武線と奥羽線との交叉點にして交通便利の地たり加之久喜の甘棠院と稱する古刹あり寶物等見るべきもの少からず

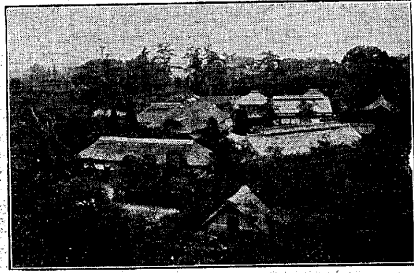
**埼玉足袋同業組合** 事務所は北埼玉郡忍町に在り足袋の産額は一年一千萬足 價額百五十萬圓 行田足袋即是なり橋本工場は其の最完全なる設備を有す

附言 同地は成田下總守の城址にして鴛鴦城又は浮城の名著はる又幾多の織物工場等大に見るべきものあり

中山道吹上驛より一里餘馬車鐵道の便あり

**小川製紙同業組合** は事務所を小川町に置き専ら和紙の改良に努む區域大里、秩父、比企の三郡に跨り組合員一千名從業者五千餘名産額一年七十萬圓頗る盛況を呈す

比企郡大河村に在りて蠶卵原紙を製造販賣す注文



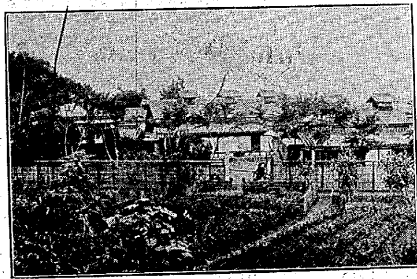
蠶桑試驗會蠶業講習所

車の便に倚るを得

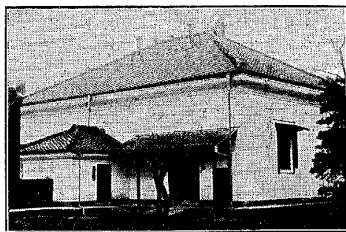
**田端愛蠶館養蠶傳習所** は兒玉郡七本木村に在り田端勘九郎の經營にして設備完全せる縣下有數の傳習所なり年數十名の生徒を養成しつゝあり中山道神保原驛より六丁人車の便あり

**日本蠶種貯藏株式會社** は兒玉郡本庄町にあり競進社社長故木村九藏の主唱により

り明治二十五年創設せらる其の蠶種保護室及貯藏庫には寒暖乾濕を人為的に調和するの装置と四萬餘枚の蠶種を貯藏する設備とありて汎く春蠶種貯藏の委

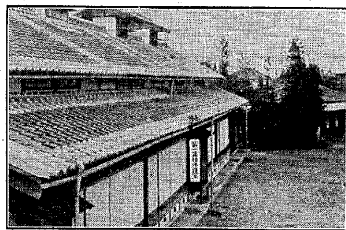


田端愛蠶館養蠶傳習所

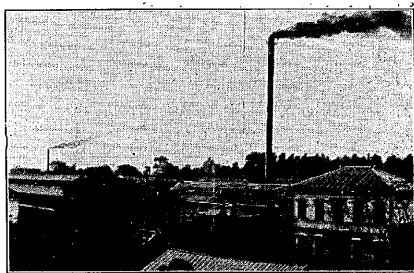


日本蠶種貯藏株式會社貯藏庫

**石川製絲所** は入間郡豐岡町にあり分工場を川越町に置く石川幾太郎の經營にして總釜數九百七十八を有し年年最良なる生絲約二萬貫を産出す縣下著名

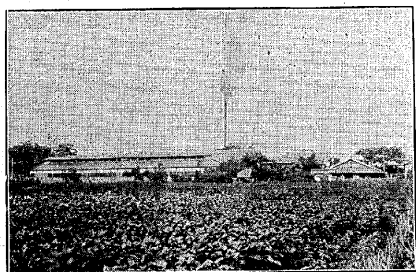


同上保室



石川製絲所(川越分工場)

託に應じ懇切丁寧なる取扱を爲す其の成績の良好にして名聲噴噴たる偶然に非るなり

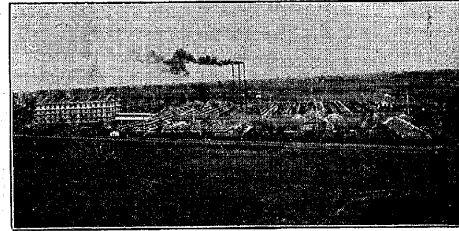


埼玉製絲株式會社

の製絲所にして昔に經營方法の他に優越せるのみならず練絲場、乾繭場、工女の寄宿舎、病室等の設備の完全なる模範的工場なり豐岡町へは川越鐵道の入間川驛より馬鐵の便あり  
**埼玉製絲株式會社** は北埼玉郡三俣村に在り、釜數二百五十を有し一箇年の産額四千餘貫、最精良なる生絲を産出す、横濱市場に其名噴噴たり同所は東武線の加須驛より數丁の東方人車の便あり  
**富國館製絲所** は中山道深谷町に在り、長野縣の人兩角市次郎の經營にして總釜數八百十四を有し、年年一萬八千貫の生絲を産出す、諸般の設備整頓せる一大製絲所

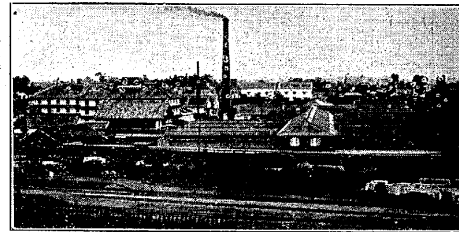
なり  
**富國館製絲所**

は中山道深谷町に在り富國館と並び稱せらるゝ一大製絲所にして

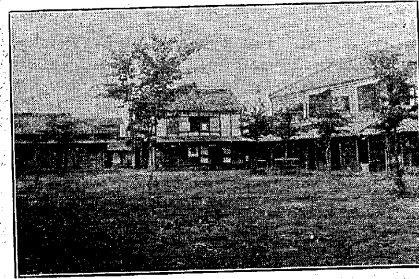


富國館製絲所

長野縣の山林國藏の經營なり總  
釜數五百九十を有し生絲一箇年  
一萬一千貫を産出す設備の最も  
完整せる模範的工場なり  
甘樂社本庄分工場 は中山道本  
庄町に在り有限責任信用販賣組  
合聯合會甘樂社の分工場にして  
同場所管に屬する坐繰生絲の場  
場は群馬、埼玉、千葉、栃木、  
福島、岡山の六縣に跨り其數八  
十箇所を有し年年出荷する生絲  
量實に三萬六千貫價格百六十五



開國館製絲所

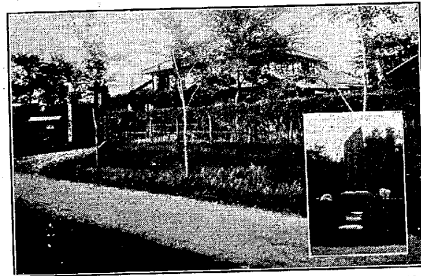


埼玉縣設森林苗圃  
は秩父郡大宮町に在り其の面積十  
二町歩あり、主として杉、扁柏の樹苗を養成し二千二

林業

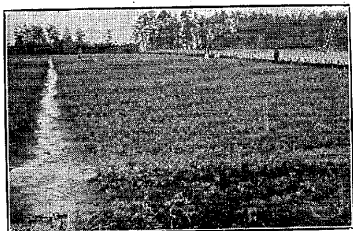
甘樂社は大里郡藤澤村に在り管下  
本確水社所屬中盛大なる揚場  
庄の一にして設備の完全なる  
分稀に見る所なり同所は深谷  
工場分  
場驛の南方約半里人車の便あり

萬圓餘に達す、而も甘樂社獨特の經營方法に至つては分  
工場と雖同一たれば來り參觀する可ならずや



信用販賣組合確水社藤澤組

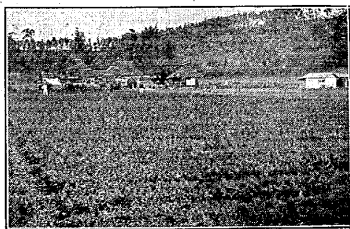




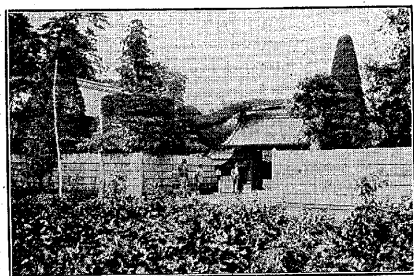
百町歩の縣有林を造成するを目的とし既に山地に移植したるもの二百八十萬本、面積五百六十五町歩に達す、蓋し本縣基本財産を設定すると共に汎く現實の模範を當業者に示苗設縣  
 として林業の發達に資せんとするもの、上武鐵道の波久禮驛圃より馬車に倚るを便利とす  
 一 其 安行地方の苗木 北足立郡安行村附近一帯の地は苗木の栽培を以て夙に名あり内地の需要と海外の輸出とは年を追ふて増加し一箇年の産額實に

四十萬圓に上れり

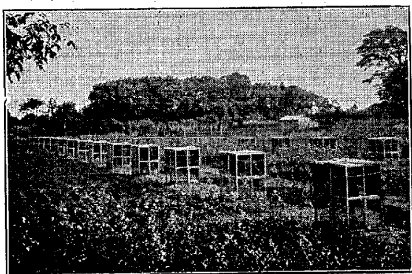
同村には有限責任安行苗木販賣組合ありて確實の取引を爲すに務め殊に縣立農事試験場の經營せる青酸瓦斯苗木燻蒸室を使用し害蟲附著の虞ある苗木には悉く燻蒸を施し果



二 其上 同



所務事合組賣販木苗行安任責限有



景の験試及室蒸燻木苗



園培栽合百門衛右幸崎駒長合組

の順路は赤羽驛に下車し川口町(織物工場のある所)を經、大宮浦和方面よりは蕨驛に下車し鳩ヶ谷町を經て二里半俵の便に倚るを良とす

樹、桑、山林用、垣根用苗木、觀賞樹木、百合根、蕨  
 附言 斯地東京方面より 薇、福壽草等を販賣せり



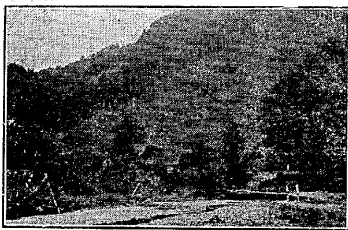
名栗の森林

秩父郡名栗村は荒川の支流なる入間川の  
上流に位し西川材の主要産地として東京木材市場に於て其  
の名著はる、而して杉、扁柏の人工殖林に就ては最も舊き歴  
史を有し諸般の設備方法完備し本縣の林業を代表するに足  
るべく森林の蓄積豊富にして百數十  
年の老齡林も亦少からず、其の林産  
物の大部は入間川荒川を利用し筏流  
により東京市場に輸出せらる

西川材木商同業組合 は事務所を入

間郡飯能町に設け木材加工材の検査及河川の浚渫道路の開  
鑿水難の防備等の事一切を處理せり

北足立郡の赤松二段林 同地方に於ては同一地所に於て用  
材と薪炭材とを得る目的を以て赤松林の林相を二段となし



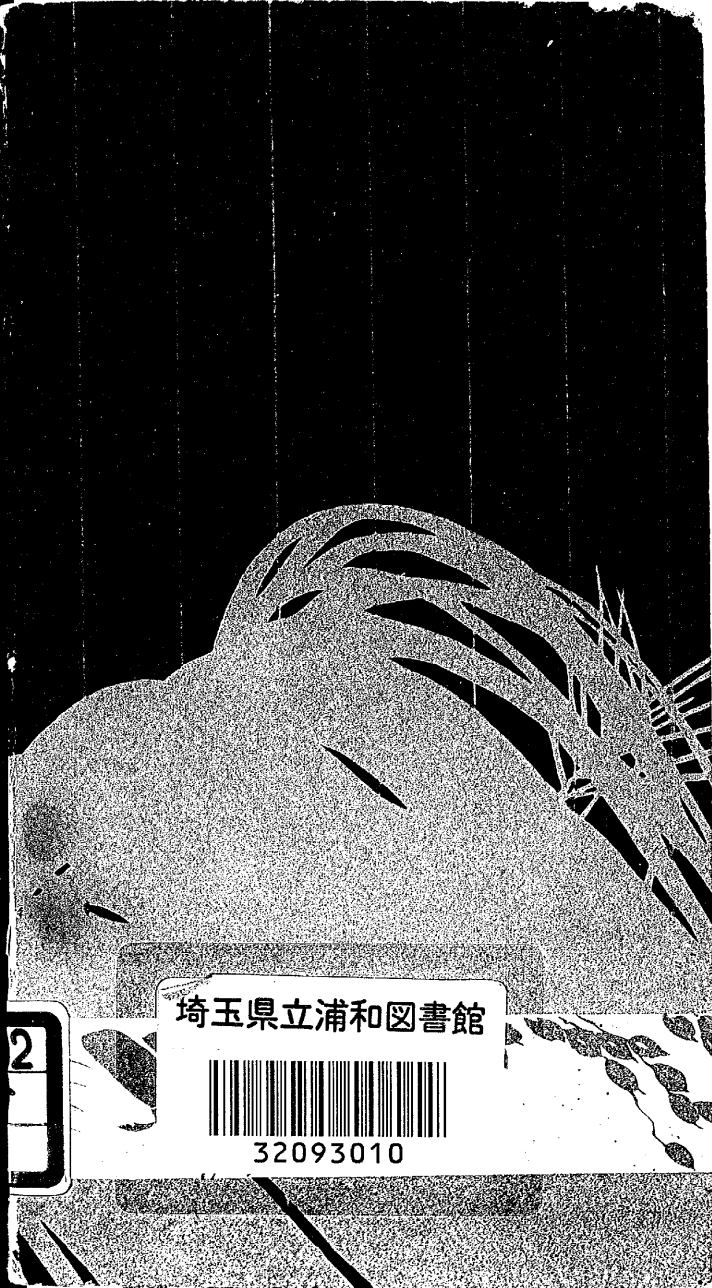
同上

明治四十三年九月十日印刷  
明治四十三年九月十五日發行

# 埼玉縣廳

東京市日本橋區數寄屋町一番地

印刷人 田山宗堯



2

埼玉県立浦和図書館



32093010